

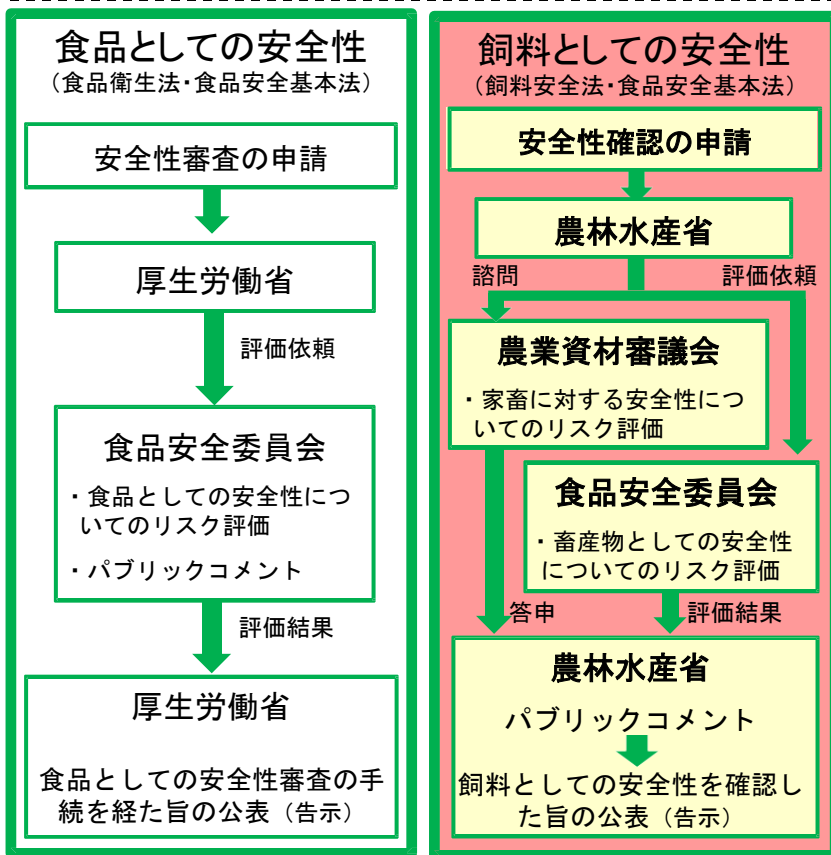
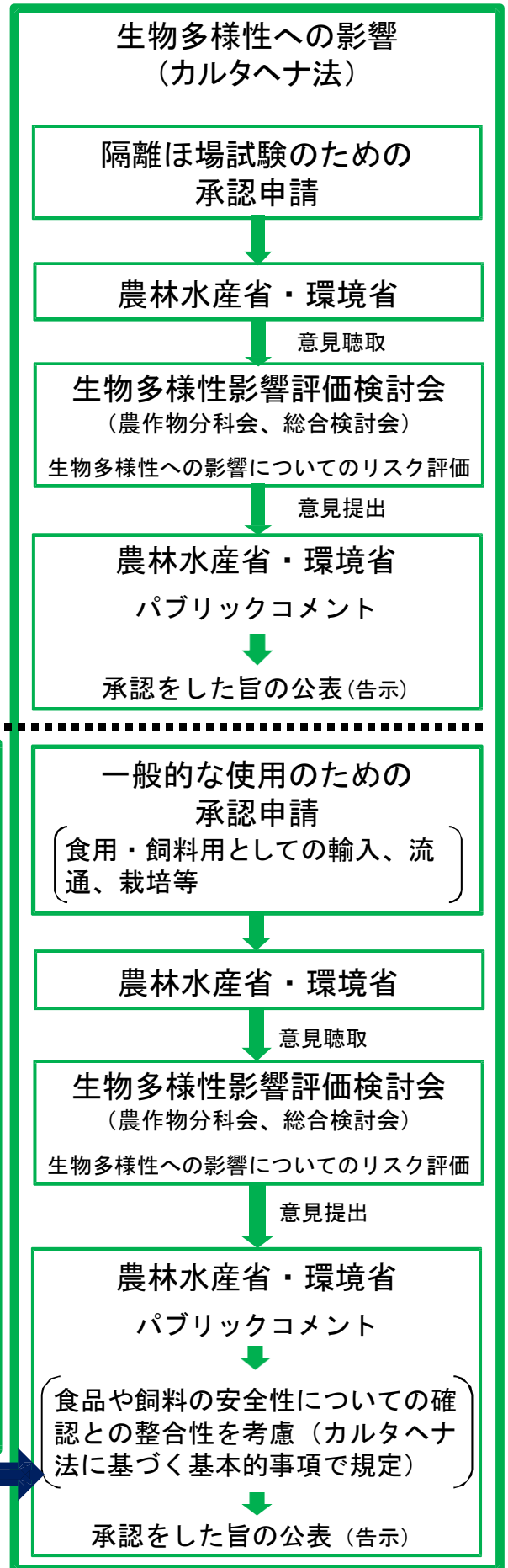
遺伝子組換え農作物の安全を確保する仕組み

遺伝子組換え農作物に関しては、

- ① 飼料としての安全性は「飼料安全法」及び「食品安全基本法」
- ② 食品としての安全性は「食品衛生法」及び「食品安全基本法」
- ③ 生物多様性への影響は「カルタヘナ法」

に基づいて、それぞれ科学的な評価を行い、全てについて問題のないもののみが輸入、流通、栽培等される仕組みとなっている。

（隔離ほ場における使用や観賞用の花きなど食品、飼料として使用しない場合は、③のみ）



問題のないもののみが輸入、流通、栽培等